

# 銀河レポート401

No. 47  
4月号

発行日：平成31年4月1日  
編集&発行：四日市市立博物館  
プラネタリウム  
電話：059-355-2700  
HP：<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html>

## 4月の星空

### 春の大曲線と春の大三角の星々

春の星空を眺めると北の空高くに、おおぐま座の一部のひしゃくの形をした北斗七星がひととき目立って見られます。そのひしゃくの柄の曲線に合わせて伸ばしていくと、うしかい座のオレンジ色に輝くアークトゥルスが東の空に見つかります。日本で見られる星座の星の中では二番目の明るさの星です。さらに伸ばすとおとめ座の青白く輝くスピカが南東の空に見つかります。この大きな曲線を「春の大曲線」と呼びます。曲線のさらに先に、からす座をつくる四角形が見つかりますが、暗い星たちなので目を凝らす必要があります。そして、アークトゥルスとスピカ、しし座のデネボラを結んでできる三角が「春の大三角」です。

### しし座

南の空高くに、おおぐま座と並んでしし座が見られます。しし座の見つけ方は、ライオンの頭にあたるハテナマーク「？」の裏返し の形です。草刈り鎌に似ているので、「獅子(しし)の大鎌」と呼ばれています。古代エジプトにおいては、ライオンは王様の象徴とされていて、その心臓の星であるレグルスは「小さな王様」という意味があります。ライオンの尻尾にある星は、「春の大三角」を形づくるデネボラで「獅子のしっぽ」という意味です。



4月15日21時の星図

南

星図：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ

### からす座

カラスは、日本神話では「八咫(やた)がらす」という「導きの神、太陽の化身」として語られています。ギリシャ神話でも太陽の神アポロンに仕える銀色の翼をもつ美しい鳥でした。また、人間の言葉を話すことのできた賢い鳥でもありました。しかし、カラスがアポロンの恋人コロニスのことでウソを言ったためにコロニスは命を落としてしまいました。アポロンは激怒して、カラスの翼を黒く塗り変え人間の言葉を取り上げて天にはりつけにしました。からす座の四つの星は、天にはりつけにされた時の銀のくぎなのです。カラスのひっそりと輝く姿は悲しげです。

### うみへび座

うみへび座は、全天88星座の中で最大の星座で全長は100°ほどあります。3月中旬にこいぬ座を追いかけるように頭が南中して、6月下旬にはさそり座にねらわれるかのようにしっぽが南中します。その心臓にあたるのが赤く輝くアルファルドです。ギリシャ神話では、大神ゼウスの妃ヘラが育てた9本の首を持つ怪物ヒドラと言われています。ヒドラは、英雄ヘルクレスによって不死身の頭を一本残してすべて首をはねられ、夜空の星座となったそうです。日本神話の「八岐大蛇(やまたのおろち)」の話とも少し似ているようにも感じられます。

## はじめてのプラネタリウム

幼児や赤ちゃんと一緒にプラネタリウムを楽しみたい！そんなご家族を対象とした番組です。泣き出したりおしゃべりしても大丈夫！みんなで一緒にプラネタリウムデビューをしませんか？

日時：4月12日(金)、19日(金)、26日(金)  
4月27日(土)～5月6日(月・休)  
10時15分～11時00分(10時05分開場)



(C) Benesse Corporation/しまじろう

※前半は星のお話をします。後半は「しまじろうとおつきさまのひみつ」を放映します。  
※プラネタリウム内は通常より明るくしています。

## コスミックスクール

### 「ぬりえであそぼう」

しまじろうなど、番組キャラクターのぬりえをしましょう。

日時：4月27日(土)  
～5月6日(月・休)  
11時～12時30分  
(受付は12時まで)

場所：5階 コズミックラウンジ

料金：無料  
※幼児対象(保護者同伴)

## 4月のガリレオ教室

### 〈惑星のひみつ〉

太陽系の惑星について、展示パネル等を使って天文ボランティアがわかりやすく解説します。



日時：4月14日(日)  
①11時から11時20分  
②14時から14時20分

場所：5階コズミックラウンジ  
及びコズミックギャラリー

## ★★観望会★★

### 《天文ボランティア主催観望会》

日時：4月13日(土)  
時間：18時30分から20時  
場所：博物館前市民公園  
内容：月を見よう

※天候不良時は中止です。  
※当日は自由参加・無料です。  
※きらら号は出勤しません。

### 《博物館主催きらら号観望会》

日時：4月27日(土)  
時間：19時30分から21時  
場所：博物館前市民公園  
内容：春の大曲線をさがそう

※天候不良時は中止です。  
※当日は自由参加・無料です。

## 4月の月

5日		新月
13日		上弦
19日		満月
27日		下弦

## 編集後記

鋭い星光と漆黒の宇宙とのコントラストの強かった星空から、霞のかかったようなやわらかで潤いのある春の星空となりました。空気中の水分量が増えてきたからでしょう。本来星座は曆を作るための目印として考えられました。農作物の種まきや刈り入れ等の時季をはかる目印として、夜空の星たちが活躍し始める季節を迎えました。